

第22回 評議員会 議事録



日時 令和3年6月11日(金)
15時30分から16時45分まで

場所 サンセール盛岡



公益財団法人 岩手県スポーツ振興事業団



公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団第22回評議員会議事録

日 時 令和3年6月11日(金)
15時30分から16時45分まで
場 所 サンセール盛岡

【出席評議員名】

小笠原 義 文 鎌 田 英 樹 小 野 保 久 慈 竜 也
百 濟 和 夫 鈴 木 悦 子 高 橋 政 代 長 棹 のぞみ
平 藤 淳

【欠席評議員名】

熊 谷 きえ子

【出席監事名】

猿ヶ澤 顕 洋 水 本 紘 一

【出席理事名】

細 川 倫 史 石羽根 恵 子 清 水 茂 幸 鈴 木 祐 子
官 昌 隆 千 葉 秀 樹 佐々木 賢 治

【欠席理事名】

なし

【議決事項】

- 議案第1号 令和2年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業報告について
議案第2号 令和2年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支決算報告について
議案第3号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員の選任について
議案第4号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団理事の選任について

【議事の経過】

- | | |
|-------------|---|
| 1 開 会 | |
| 2 出席評議員数の報告 | 出席評議員数 評議員10名中、出席9名 |
| 3 理事長あいさつ | |
| 4 議事録署名人の選出 | 議事録署名人 小野保評議員、百濟和夫評議員 |
| 5 議 事 | |
| 議案第1号 | 議案第1号 令和2年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業報告について |
| ～議案第2号 | 議案第2号 令和2年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支決算報告について |

監査報告

(猿ヶ澤頭洋監事)

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められる。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められない。

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認められる。

質 疑

(高橋政代評議員)

勤労身体障がい者体育館はコロナ禍の中、利用者数が増と健闘しているが、自主事業の卓球バレー交流会について伺う。コロナ禍でも中止することなく開催されているが、大人12人ということはかなり密な状態ではなかったかと思う。クラスターにならなくてよかった。何か特例のルールあるいは特別な指導のもとに実施したものなのか。

(事務局)

卓球バレーは、一面に二人ずつ座ることから、一メートル以上の間隔はとれない。感染対策として、マスクの着用や消毒をしながらプレーしていたかと思う。

(鈴木悦子評議員)

4月にふれあいランドで講習会があり参加した。翌日には交流会も行われた。卓球バレーでは、始まる前に手を消毒、終わった後も担当の方々がボールやラケット、テーブル等全て消毒していた。そういったルーチンが徹底していた。

(鈴木悦子評議員)

アンケートの結果について伺いたい。満足度が高いのは良いことだが、満足の中身、具体的内容について伺う

(事務局)

アンケートは、各施設80件以上、合計900件以上を集計した結果である。職員の待遇への評価に加え、コロナ禍の中で工夫して事業を実施していることや他の施設が休館している時期に、県営施設は開場していたことなどが高い満足度につながったと考えられる。

(百濟和夫評議員)

「生涯スポーツ振興事業推進会議」を開催とあるが、回数と具体的な内容を伺う。

(事務局)

「生涯スポーツ振興事業推進会議」は、事業団の各種自主事業や県からの受託事業について、より質の高いものにしたいことから、職員どうして企画立案、実行等チェックし、レベルをあげようと総務企画課長と各施設長で構成される会議を年4回ほど開催している。また、その下部組織であ

る、「事業活性化プロジェクトチーム会議」を毎月開催し、それぞれの事業の進捗状況を確認し、知恵を出し合ってより良いものにしようとしている。

(小野保評議員)

県南青少年の家や陸中海外青少年の家とも、新たに高齢者利用の促進を図るとか幼児向けのプログラムの作成等新しい需要の掘り起こしに取り組んでいると伺った。県北青少年の家の状況はいかがか。国立の青少年体育施設は、前年度比△70%、△80%といった状況であり、岩手県の施設はがんばった印象。やりかたを教えてください。

昨日、文部科学省で都道府県、指定都市の生徒指導担当連絡会議、全国の教育委員会の修学旅行を担当の先生の会議であるが、その会議の中で、青少年教育施設のご紹介をしていただいたと法人本部から聞いている。文部科学省としても、学校の体験活動が減少していることは認識している。同業の施設として一緒に力を合わせていければということで情報提供する。

(事務局)

具体的な自主事業の実施はまだであることから企画段階ではあるが、特に当施設は、野外、森林、自然環境に恵まれていることから、幼児向けのプログラムについては、遠足など自然を対象とした事業展開を企画している。プラネタリウムについても、小学生のみならず幼児も対象とすることで検討している。

高齢者との連携については、公民館の社会教育事業の中の高齢者大学の教室の中に取り込んでもらう方向で春から地元呼びかけている。

採 決

(小笠原義文議長)

議案第1号及び議案第2号は、提案のとおり承認することに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

異議がないようですので、議案第1号及び議案第2号については、提案のとおり承認することに決定しました。

議案第3号

～議案第4号

議案第3号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員の選任について

議案第4号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団理事の選任について

(小笠原義文議長)

事務局から提案の趣旨について説明してください。

(事務局長)

まず、議案第3号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員の選任について、説明する。評議員の選任にあたっては、当事業団の定款に掲

げる目的や事業を念頭に、生涯スポーツの振興及び青少年の健全育成に関する専門的知見を有する皆様、学識経験者の皆様に就任いただいていることから、この専門性のバランスとこれまでの実績などを踏まえ、選任してきているところ。本日は、任期満了前における前任者の辞任及びご逝去に伴い補欠の評議員を選任するもの。

一人目は、工藤武彦様です。株式会社岩手日報社編集局記事審査部長兼編集委員をされている。

二人目は、水間謙三様です。岩手県柔道連盟理事をされている。評議員の任期は定款により前任者の残任期間とされているので、工藤様にあつては、令和6年6月の評議員会の終結時まで、水間様にあつては、令和5年6月の評議員会終結時までとなる。

次に、議案第4号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団理事の選任について、ご説明させていただく。当事業団の理事の任期は定款により2年とされている。今回、任期満了を迎える理事が7名、任期満了前に退任された理事が2名いるので、9名の理事を選任しようとするもの。選任に当たっては、これまでと同様再任を基本としている。

NPO法人岩手県レクリエーション協会理事で現理事の石羽根恵子様。
岩手大学教育学部教授で現理事の清水茂幸様。

前一関南小学校校長で現理事の鈴木祐子様。

そして、公益財団法人岩手県体育協会の事務局長の古館慶之様。なお、古館様は、3月に県体育協会を退職されました前事務局長の鈴木清也様の後任である。

次に内部理事の候補者として当事業団熊谷正和総務企画課長、現理事の佐々木賢治陸中海岸青少年の家所長、現理事の千葉秀樹施設課長兼運動公園長、当事業団の細川倫史理事長、現理事の宮昌隆事務局長。

なお、熊谷正和総務企画課長は、本年3月に退職した小友善衛氏の後任者である。

任期は、令和5年6月の評議員会終結の時までとなるものである。

(小笠原義文議長)

ただいま、事務局から理事会で議決された選任案により、説明がありましたが、意見、質問はございませんか。

質疑

(なし)

(小笠原義文議長)

それでは、選任に入りますが、説明のありました理事会で議決された選任案により選任していくことよろしいかお諮りする。

(異議なしの声あり)

(小笠原義文議長)

それでは、一人ずつ選任してまいる。
最初に、議案第3号の評議員の選任のうち工藤武彦氏はいかがでしょう
か。

(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、水間謙三氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

以上、2人の方を評議員に選任することに決定した。

次に、議案第4号の理事の選任について採決を行う。

石羽根恵子氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、熊谷正和氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、佐々木賢治氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、清水茂幸氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、鈴木祐子氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、千葉秀樹氏はいかがか。
(異議なしの声あり)
異議はないようなので、決定する。

次に、古舘慶之氏はいかがか。

(異議なしの声あり)

異議はないようなので、決定する。

次に、細川倫史氏はいかがか。

(異議なしの声あり)

異議はないようなので、決定する。

次に、宮昌隆氏はいかがか。

(異議なしの声あり)

異議はないようなので、決定する。

以上、9人の方を理事に選任することに決定した。

以上で、予定した議事を終了する。

6 その他

(小笠原義文議長)

次に、6 その他に入る。

評議員の皆様から、意見、質問、提案などがあるか。

わたしから一つ。県立野外活動センターの進捗状況について教えてほしい。7月11日には開所式があるときいているが、コロナ禍の中でも見学ツアー等が安全にできるのか。

(事務局)

野外活動センターについては、4月から当事業団の職員8名を派遣して準備を進めてきた。対外的には、7月11日に開所式を行う。概ね順調に進んでおり、コロナの状況下でも安全に留意し、見学ツアー等ができたものと聞いている。

(小笠原義文議長)

事務局から、報告等があるか。

(事務局)

参考資料「施設別利用状況平成22年度～令和2年度」

「施設別利用状況令和3年4月～5月」について説明

(小笠原義文議長)

その他何かありますか。

これにて、評議員会を閉じる。


7 閉 会

以上で会議を終了する。

上記記載に相違ないことを認める。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

議長 小笠原義文 

議事録署名人 小野 保 

議事録署名人 百濟和夫 

